

ゼロカーボンシティを目指して

～みよし市は、どんな取り組みをしているの?～

ゼロカーボン推進室 ☎76-5002 FAX 76-5021

私たちの暮らしに影響を及ぼしている地球温暖化や自然災害の深刻化を踏まえ、本市は令和7年3月にゼロカーボンシティ推進計画を策定し、令和32(2050)年の二酸化炭素(CO₂)排出量実質ゼロの実現を目指して取り組みを進めて

います。地球温暖化対策にはCO₂を減らす**緩和策**と、気候変動の影響に備える**適応策**の両立が欠かせません。今回の特集では、**水素エネルギーの利活用【緩和策】**と、**熱中症対策【適応策】**を紹介します。



ゼロカーボンシティ推進計画

水素エネルギーの利活用【緩和策】

製造業を中心とした産業部門や運輸部門から、温室効果ガスである多くのCO₂が排出されます。工場で使用される重油・ガスなどを燃料とした工業炉や長距離運搬を行う貨物自動車など、電化することが難しい分野の代替燃料として、使用時にCO₂を排出しない水素をはじめとするクリーンな燃料の利活用が重要です。そのためにも、本市は率先して水素の利活用を促進する事業に取り組み、地域の水素需要を高めていきます。



愛知県内初! 水素で走るFC給食配送車

県内で初めて、給食配送車として燃料電池(FC)小型トラック1台を導入しました。水素と酸素で電気を



作り、走行中に排出するのは水だけ。こどもたちへの環境学習の教材としても活用しています。

次世代の拠点! 水素ステーション

打越町に開所した水素ステーションは乗用車だけでなく、FCトラックなどの大型商用車にも対



応しています。自動車産業や物流が盛んな本市の脱炭素化を大きく支える拠点です。

導入を手厚くサポート! 水素に関する補助金

本市では、**水素を取り入れる市民や事業者を応援する補助制度**を用意しています。詳細は、右記の各QRコードからご覧ください。

- 家庭向け(生活環境課)……家庭用次世代自動車購入等費用補助金、エコエネルギー促進事業補助金
- 事業者向け(産業振興課)……事業用次世代自動車購入等費用補助金、燃料電池自動車トラック(FCトラック)導入促進費補助金、燃料電池自動車トラック(FCトラック)水素燃料費補助金



家庭向け



事業者向け

世界首長誓約から、コンプライアントバッジの認定を受けました

本年6月、本市は地球温暖化対策に取り組む自治体の国際的な枠組みである世界首長誓約から**コンプライアントバッジ**という認定を受けました。これは、本市の策定したゼロカーボンシティ推進計画が国際的な基準をクリアし、本格的な取り組みを始める準備が整ったと認められた証です。

また、このバッジが交付されることは2050年のカーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)という大きな目標に向かって、本市がしっかりとスタートラインに立ったことを意味します。



▲コンプライアントバッジ

今日からできる熱中症対策【適応策】

地球温暖化により、夏の暑さは年々厳しくなっています。指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の活用と併せて、日常でできる熱中症対策に取り組みましょう。

●エアコンを適切に使いましょう

節電を意識しすぎると、命の危険を招きます。室温は28℃を超えないように。

●のどが渇く前に、こまめな水分・塩分補給を

外出時はマイボトルを持参すれば、プラスチックごみ削減にも貢献できます。

●直射日光を防ぐ工夫を

外出時は日傘や帽子を、家ではすだれや遮光カーテンを利用しましょう。



クーリングシェルターで暑さから避難

クーリングシェルターとは、熱中症による健康被害の発生を防止する目的で、厳しい暑さから一時的に避難するために本市が指定した施設です。

熱中症特別警戒アラートが発表されるような気温の高い日などに、暑さをしのげる場として一般に開放されます。市内のクーリングシェルターは、公共施設・民間施設合わせて37カ所あります。詳しい場所などは、ホームページをご覧ください。



ホームページ



環境教育に関する取り組み【その他】

ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みについて、日頃の生活から意識してもらうため小・中学生を対象とした環境教育を行い、省エネ行動推進や環境意識の向上を図っています。

愛工大おもしろ体験ツアー参加者を募集します

愛知工業大学（豊田市八草町）で燃料電池の作成などをした後、ロボットミュージアムを見学します。申し込み方法など詳しくは、各小学校で配布するチラシ、またはホームページをご覧ください。

日時 8月26日（水）10:00～14:00 **場所** 市役所の第4駐車場へ集合し、バスで移動

対象 市内在住の小学4～6年生 **定員** 先着で20人 **【申し込み期限】** 8月16日（日）



ホームページ

南中学校で環境学習講座を開催しました

7月7日（火）、トヨタ自動車株式会社 下山工場が南中学校の2年生約120人を対象に、地球温暖化防止に関する講座を開催しました。生徒たちは、燃料電池自動車（MIRAI）やC+walkの試乗、燃料電池自動車の模型づくりなどを通じて、水素活用の仕組みや必要性について学びました。



受講した生徒の感想



ののやまはるき
野々山遥希さん

講座を受けて、水素は環境にやさしいだけではなく、日常生活の中でもとても役立つものだということが分かりました。



よこたゆうな
横田侑奈さん

水素は水と酸素でできていることは知っていましたが、そのエネルギーで車や船などが動かせるなんて、驚きました。